

かわにしファミリーサポートセンター

Family Support 通信

ファミリーサポートセンターでは、「子育ての応援をしてほしい」「子育ての応援をしたい」人が会員となり、子育ての援助活動をお住まいの地域の中で行っています。

第2回交流会

平成29年1月発行

あけましておめでとうございます。

昨年中は大変お世話になりました。今年もどうぞ宜しくお願いいたします。良い年になりますように。



12月10日(土) 10時~12時 中央公民館・大集会室にて第2回ファミサポ全体交流会クリスマス会を開催しました。「妙見うさぎさん」による歌と生バンド演奏、「清水まゆこさん」によるエプロンシアター・パネルシアター、最後にはサンタさんからプレゼントをもらい多めに盛り上がった2時間でした。お越し頂きありがとうございました。



妙見うさぎさん



◀親子で生の演奏が聴けて嬉しかったと大好評でした。

清水まゆこさん



▲「おむすびころりん」の物語を身体全身で表現するまゆこさんに釘付けでキャキャと喜ぶ子ども達でした。

▲知っている曲と一緒に歌って踊って楽しかったですよ。



プレゼントはなにかなあ〜

▲プレゼントはお菓子の詰め合わせ。サンタさんの登場にワクワク・ドキドキ心がはずみました。



サブリーダーさん

▲お揃いのエプロンができました♪各地区の代表の方々です。行事・運営など、お手伝いして頂いています。分からないことがあれば気軽に声を掛けてくださいね。



こどもの

発達の違い



第3回講習会

平成28年10月7日(金)川西さくら園より職員を講師に迎え「発達が気になる子どものかわり」について講習会を開催しました。発達障がいの子の特徴と関わり方を皆でお勉強しましたよ。発達障がいは個性の延長線上にあるもの。さくら園で大切にしている関わり方のポイントは①楽しい・好きから始める ②環境の整理 ③子どもに伝わる伝え方 ④小さな成功体験の積み重ねです。きっと子育て全般に共通することですよ。お子さんのことで心配や不安なことがあれば1人で悩まず専門機関に相談してくださいね。

～相談窓口～

- ・牧の台子育て学習センター・子育て支援ルーム
- ・教育情報センター・保健センター・川西さくら園 等

平成28年11月8日(火)・15日(火)ふれあいプラザ4階にてカウンセリングスペース「リヴ」より講師をお招きして子育て支援者講座を行いました。2日目の講座の後は交流会もあり充実した2日間でした。

1日目の講師は小松智子さん。テーマは『発達障がい児の理解と接し方』皆と違うと心配で怒ってしまうことがありますよね。大切なのは怒るのではなく、その子に合ったやり方を教えてあげること。持っている性質は環境で大きく変わります。早期発見・早期療育を心掛けましょう。

子育て支援者講座 1日目



2日目の講師は佐藤まどかさん。テーマは『子どもの表情と行動から読み取れる心理状態』赤ちゃんの時から泣いたら不快を快に変えてくれる大人がそばにすることで人は成長します。答えが出なくても自分の為にああでもない、こうでもないと考えてくれた関わりが信頼する力となり社会や未来を信じる力になるそうです。



会員みなさまへ

いつもファミリーサポートセンターの活動にご理解・ご協力をありがとうございます。センターでは日々安心・安全なサポートができるよう様々なことに取り組んでいます。そこで皆様にはお願いです。下記の事項をもう一度改めて考えて頂き日々のサポートに役立てて頂けたら幸いです。もちろん分からない事や不安な事があればいつでもセンターにお問合わせください。宜しくお願いいたします。

1. お子様の状態をしっかりと共有していますか
2. サポート内容で事故につながりそうな事はありませんか
3. 緊急時の対応を話し合っていて決めていますか
4. 相互援助活動を理解しお互いを思いやってサポートしていますか
5. 不明確なことはありませんか

安心して暮らせるために私たちにできること。一緒に考えていけたらと思います。

～ご協力お願い致します～

事故につながりそうなヒヤッとした経験はありませんか？情報共有することでリスクは軽減します。センターに教えて頂けたら嬉しいです。



16年前のサポートから・・・そして、今、現在



10月のある日、元協力会員Iさんから、センターへお手紙をいただきました。16年前、ファミリーサポートセンターが開設してまもない頃のサポートの様子と、今、現在も続く依頼会員Yさん、Nちゃんとの絆・・・。
ご本人さん達にも実際に会って、お話も聞いてきました。内容を少し紹介します♪



平成12年、ファミリーサポートセンターが開設した頃、大阪市内で看護師として働くYさんは学童のお迎えに間に合わず、仕事と育児の両立に悩んでいた時にファミサポの存在を知ったそうです。すぐに登録に行き、協力会員Iさんを紹介されました。Iさんは、Yさんの家のご近所で、ご主人を亡くされたばかりでした。Nちゃんが保育園の頃からサポートをしていて、小学校に上がった時のお話を中心にさせて頂きました。

サポート内容は、学童後のお預かり。夕食も込みです。小学校1年生のNちゃんは、学童から帰ってきたらIさんの家で宿題をし、お絵かきなどで遊んだり、ご飯のお手伝いをしたり・・・とIさんに色々教わったとのこと。Iさんもご主人を亡くされ、一人寂しい夕食より、Nちゃんと食べる夕食はとても心癒され、元気をもらったそうです。Nちゃん曰く、Iさんの手作り青しそふりかけは絶品!とのこと。毎年、作られるそうです。

お仕事の忙しいYさんは、迎えに行くと「これ、食べてね」とIさんからの夕食のおすそわけもありがたかったそうです。

16年前、フルタイムで働く母は少なく、Iさんには精神的に支えられ、ファミサポがあって本当によかったと。Yさんの後輩達には、職場復帰する際、ファミサポを紹介してくださっているそうです。▲16年前のサポートの様子



16年後

現在、大学3回生になったNちゃん。Iさんに作ってもらった煮込みハンバーグを食べてもらいたい!と16年ぶりにIさんに依頼。(ファミサポではないですよ、個人依頼です)そのご依頼から昔のサポートを思い出し、センターへ温かいお手紙をいただきました。

そして、アドバイザーがお邪魔させていただき、和やかな雰囲気の中、16年前のことそして現在のことをお聞きしました。Iさんは「16年前のサポート時に身に着けていたエプロンよ～」と言って登場してくださり、確かに!!昔の写真と同じ!!と感動してしまいました。また、素敵な女性になっていたNちゃんから「サポートの時に作ってくれたご飯やしそふりかけは絶品でした!16年ぶりに、Iさんの家で一緒にご飯を作るようになり、やっぱりおばちゃんのご飯はおいしいです」とコメントもいただきました。この日のために、お仕事をお休みしてくれたYさんは、「次世代に働き続けられる環境を提供できるよう体験者



▲取材日、みんなでハイ、チーズ!!

として発信していくことが私の役目」と心強いお言葉をいただきました。そして、Iさんが席を外した時に「今度は私がIさんを助ける番。何かあれば、すぐに駆け付けようと思っています」とYさんの言葉に、これこそ、人と人とのつながりであり、現在薄れてきたご近所つきあいの基本なんだと教えていただきました。ファミサポの縁って本当に素晴らしいと思います。今回は、とっても貴重なお話ありがとうございました!!



H28年度 ファミリーサポートセンターの会員数および活動状況

1000人
突破!

《地区別会員登録》H28. 12月末現在

	川西南	中央	多田	多田西	東谷	猪名川 A	猪名川 B	猪名川 共通	広域	計
依頼	57	147	111	86	108	16	77	5	18	625
協力	12	31	45	46	46	6	18	1	5	210
両方	21	29	36	27	23	5	21	2	2	166
計	90	207	192	159	177	27	116	8	25	1001

28年度4月～12月 活動件数 BEST

1位・・・放課後児童育成クラブ終了後の預かり 675件

2位・・・子どもの習い事等の場合の援助 560件

3位・・・保育施設までの送迎 462件

1位～3位は、
前回と変わらず



お知らせ

～子育て支援講座～

市子育て・家庭支援課主催
「魔法の感情コントロール術」
～イライラ、怒りから抜け出す～
日時：3月2日(木) 10:00～12:00
講師：心理スペース「ぽればれ」
稲松 由佳さん
場所：アステ市民プラザ6階
申込み：2月1日(水)～ 9時受付開始
子育て支援ルーム072(740)1125



平成29年度

第1回交流会(予定)

「管弦楽団コンサート」他

日時：6月10日(土)

出演：兵庫県立芸術文化センター
管弦楽団

場所：ふれあいプラザ4階

詳しくは、案内状、または市の
広報誌でお知らせします!

お問い合わせは

社会福祉法人 川西市社会福祉協議会

かわにし ファミリーサポートセンター

〒666-0017 川西市火打1丁目1番7号
ふれあいプラザ3階

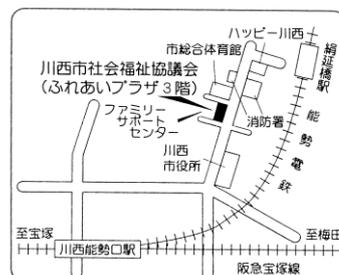
TEL 072(740)6800 FAX 072(759)5203

URL <http://www.k-shakyo.or.jp>

E-mail famisapo@k-shakyo.or.jp

☆ 月曜～金曜 午前9時～午後5時30分

QRコード



能勢電鉄 網延橋駅から徒歩5分
阪急・能勢電鉄 川西能勢口駅から徒歩10分